

あなたならどうする？

グループ活動と全体活動 30分

【学習のねらい】

「車椅子で行動している人」、「ベビーカーで子どもを連れた母親」の写真を見ながら話し合う中で、相手の思いや立場を知り、自分にはどんなことができるかを考える。

【準備するもの】 ・写真 ・A3用紙 ・大きめの付箋多数 ・鉛筆

【進め方】

- (1) アイスブレイキングにより5、6人のグループに分ける。
- (2) 各グループで好きな場面の写真を1枚選び、机の上に置く。
「友だち数人でいるときに、こんな場面（写真）に出会いました。あなたはどうしますか？」
- (3) 一人一人自分の考えを付箋に書く。考えがたくさんある場合は、付箋を何枚も使用してよい。
- (4) グループ内でリーダーを決め、まず、リーダーが付箋をA3用紙に貼り付け、理由も付けながら自分の考えを発言する。
- (5) 同じ考えの人がいたら、続けて発言してもらい、付箋を貼っていく。
- (6) 続けて異なる考えをもつ人が発言し、付箋を貼っていく。
- (7) 全員が発言した後、張り出された考えをもとにしてグループで「自分にはどんなことができるか」の意見交換をおこなう。また、他にできることがあるかについても話し合う。
- (8) グループごとに写真のタイトルをつける。その理由も考える。
- (9) それぞれの写真について、つけたタイトルとその理由を全体で発表し合う。
- (10) 他の写真についても同様の手順でおこなう。（時間に応じて枚数を決定する）

【予想される参加者の意見】

- 車椅子で階段をのぼれないだろうから、エレベーターがあったら、そこに案内する。
- 「2階に行きたいのですか？」ときいてみる。
- 「こんにちは」と声をかけて、困っていることは何かを自然な形で聞く。
- きっと2階へ行きたいのだろうが、車椅子（子ども連れ）では階段は上ることができない。
- 困っているようだから、みんなで車椅子（ベビーカー）を持ち上げよう。
- 「どこへ行くの？」と声をかけながら、子どもたちを連れていってあげよう。
- 困っている雰囲気はないようなので、気にしながら通り過ぎる。

【留意点】

自分たちの思い込みや誤解がかえって相手に迷惑をかけてしまうことも考えられるので、相手の思いや立場を知ることが大切になりたい。

あなたならどうする？（写真）

① 車椅子で行動している人



② ベビーカーで子どもを連れた母親



感想